

四国国際物流戦略チーム 第4回幹事会

今後の進め方(案)

平成28年3月11日

今後の進め方(案)

戦略提言(案)については、本部会合(H28.4~5月頃)において、とりまとめを予定。
H28年度以降は、関係者間での情報共有・連携を深めながら、各施策の推進に向けた取り組みを行う。

<今後の政策推進に向けて(H27年度WGでの意見)>

- ワーキングの開催を通じて、荷主・船社・港運事業者など関係者間での情報共有が進んできたように考えられる。
【学識者】
- 東アジア航路や国際フィーダー航路の充実などの航路ネットワークの構築に向け、まずは関係者の関係性をさらに深めていくことが重要。そのためのプラットフォーム構築や恒常的な情報共有が可能となる仕組みづくりが必要。【学識者】
- 四国企業の国際競争力強化に向け、物流コスト低減や利便性の向上が必要。多くの関係者において、誰か一人に負担がかかるものではなく、四国企業全体に波及するような仕組みの構築が必要。【その他関係者】

H28.4~5月頃
(予定)

【本部会合】
・効率的なコンテナ輸送のあり方について

戦略提言
「四国における効率的なコンテナ貨物輸送のあり方編」



H28年度~
(予定)

・戦略提言の各項目に係る取り組みの状況について、報告・情報共有を行う場を設置して、フォローアップを実施

→ 例えば、「四国国際物流戦略チーム 物流戦略連絡会(仮称)」

・年に1回程度、幹事会へ報告